

月刊

GPP



Vol.50

令和元年12月号

株式会社
グロースパートナーズ

今年もお世話になりました。

はじめに、先日、アフガニスタンで中村哲氏が凶弾に倒れた。お恥ずかしいことに、私は彼のことを知らなかった。今となって彼のストーリーをメディアで見聞きし、勿論大変残念ではあるものの同じ日本人としてかくも誇りに思ったことはない。

異国の地で、自己利益の為ではないことを、考えついて、行動して、そして成し遂げる、ということは、ミーハーな言い方ではあるが、人間として、男としてカッコイイなあとと思う。

そして、多くのアフガニスタン地元の人からその死を悔やまれ、旅客機の機体にもその顔が描かれ、U2のボノも追悼の歌を捧げたのは、適切な表現ではないかも知れぬが、誇らしく思う。ご冥福をお祈り致します。

さて、もう12月。2019年もあっという間に、本当にあっという間に終わりを迎えようとしている。毎年のことながら激動の一年間であった。どうやら2020年は私にとって素晴らしいステージの始まりとのことで、大いに期待している。

特にここ数ヶ月、SDGsの流れからか、世の中で受け入れられている実感がしている。農業用ため池堆砂対策、水害復旧、残コン対策、エチオピアでの社会貢献、全くもってSDGsなのである。残コン処理剤として国交省の新技术認定制度NETISに登録の内定を頂いたところでもあり、また愛媛県、島根県、長野県では農業用ため池補強工事の資材として話が進んでおり、愛媛県内では水害復旧用資材としての備蓄の協議が始まっていて、エチオピアに向けてはサンプルロットとして40FTコンテナを輸出したところである。

そんな中、今年の締めともいべきイベントが今月には控えている。

なんと国土交通省にてセルドローンのプレゼンをすることとなり、突貫で資料を作成中である。長年に渡って共同研究をお願いしている京都大学・澤村先生にもご同席頂いて、研究成果を発表して頂くことになっている。恐らくこのセルドロン事業においては、必ずターニングポイントとなることは間違いない。

事業が少しずつ浸透していって、機運も向いて来ている、これで良きリアクションを得られないなら、よほどのヘタクソ経営者であることは間違いない。

いままでの集大成と思っている。

さてさて、そんなこんなで“師走な”今日この頃。

少し早いですが、今年もありがとうございました。

そして2020年には良いご報告が出来るよう、しっかりやって参ります。

藤井 成厚

セルドロン情報

溜池改修工事時の浚渫土処理について

農業用ため池の法律が施行され、全国各地で始まってきている溜池改修工事。

長野県では50か所以上、静岡県でも多数と言われています。

もともと溜池の多い西日本のエリアは、それ以上になると思われます。

今回もセルドロンを検討した理由は、ため池の浚渫土を「環境に優しく」「作業効率が良く」「浚渫土を再利用」という観点からだ。普段の軟弱土(浚渫土などのように、含水比が高く流動性の高い土)は、セメント系固化材や生石灰を利用して改良するが、農業用の溜池では、改良材も農業に影響を与えない物を選択するのが好ましい。それは、溜池の水質汚染や改良材の付着により、農作物の成長に影響が出るからだ。

| 改良材 | 改良後土壌への影響 | 改良材が農作物に付着した際の影響 |
|-------|----------------|-------------------------------|
| セメント系 | × アルカリ性に変質 | × 材料がアルカリ性のため 悪影響が懸念される |
| 石灰系 | × アルカリ性に変質 | ○ 材料が飛散する可能性がないため 安全である |
| セルドロン | ○ 改良後の土壌は中性 | ○ 材料が中性のため安全である |

改良材比較表

セルドロンはもともと木の繊維(セルロース)が主原料であり、pHも8程度を示し、自然界にいる微生物により生分解される。そのため溜池などの浚渫土の改質には、とても相性が良い。

場内で再利用したいけど、含水比が高いたけで使えない。

セルドロンを混合するだけで、含水比が低くなったようになります。

使い勝手が良くなった土は、可能性が広がります。

どの自治体でも試験を実施願います。お問い合わせお待ちしております。

①吉田池堆積土(砂質土)・・・配合量:125kg/m³



②吉田池堆積土(粘性土)・・・配合量:125kg/m³



③小島大池堆積土(砂質混じり粘性土)・・・配合量125kg/m³



④小島大池堆積土(粘性土)・・・配合量:125kg/m³



その他ご不明な点がございましたらお気軽にご連絡ください。